

漢字とその読み方の例

例えば、「清」という漢字の読み方として、漢和辞典には以下のような読み方が掲載されている（「全訳漢辞海 第四版」（三省堂））。

①常用漢字表に示された音

セイ ショウ

②常用漢字表に示された訓

きよーい きよーまる きよーめる

③常用漢字表の付表に示された音訓

清水（しみず）

④日本漢字音（漢音、呉音、唐音、慣用音）

セイ ショウ（シャウ） シン

⑤名前を付ける場合の参考となる名乗りの読み

きよ すが すみ

⑥当て字、熟字訓や読み方の難しい語

清汁（すましじる） 清箱（しのはこ） 清白（すずしろ）

水 8
清 00 3222 6E05 〔熟4〕
セイ・シヨウ
きよーい・きよーまる・きよーめ
る ④清水

水 8
清 00 60F8
セイ
シヨウ（シャウ） ④ 清清平 白日
シン

〔形〕 ①きよーい・キヨ・シ。きよらか。すむ。〔動詞で訓読〕 ②水が澄んでいるさま。 ③河水平且直猶見其影。 ④河の水は澄み、そのうえ、真つすぐに波立つ（詩・魏・伐檀） ⑤澄み切っているさま。 ⑥明るくはつきりしているさま。 ⑦人間月影清。 ⑧人の世では月の光が明るく澄んでいる（杜甫・時・月） ⑨よこれがないさま。 ⑩世混濁、而我独清。 ⑪富貴を求めないさま。 ⑫私だけが澄んでいる（宋・楊萬里） ⑬高貴を求めないさま。 ⑭少有人清名。 ⑮若くして清康の評判があった（晋・河間王顯伝） ⑯世俗を超越したさま。高尚なさま。 ⑰女静なさま。 ⑱心清閑。妙香。 ⑲心が静かで、なんともよい香りをかいた（杜甫詩・大雲寺贊公房） ⑳平穏なさま。戦乱がなくおだやかなさま。 ㉑漣然四海清。 ㉒平穏なさま。 ㉓戦乱がなくおだやかなさま。 ㉔漣然四海清。 ㉕平穏なさま。 ㉖漣静か。 ㉗漣静か。 ㉘漣静か。 ㉙漣静か。 ㉚漣静か。 ㉛漣静か。 ㉜漣静か。 ㉝漣静か。 ㉞漣静か。 ㉟漣静か。 ㊱漣静か。 ㊲漣静か。 ㊳漣静か。 ㊴漣静か。 ㊵漣静か。 ㊶漣静か。 ㊷漣静か。 ㊸漣静か。 ㊹漣静か。 ㊺漣静か。 ㊻漣静か。 ㊼漣静か。 ㊽漣静か。 ㊾漣静か。 ㊿漣静か。

〔名〕 ①澄んだ水や霞。 ②王朝名。唐宣「シン」を用いる。 ③「清朝」のヤン。 ④便所。かわや・カハヤ。 ⑤「清」姓。

〔説文〕 〔形声〕 澄み明るい。水を澄ましたさま。 ①「清」は「青」である。濁りを除去し「清」を造れば、色に青に似てくるのである。（説文解字）

〔名〕 ①きよ・すが・すみ ②「清汁」 ③「清箱」 ④「清白」

部首 水 火 爪 父 爻 片 牙 牛 犬 玉 瓜 瓦 甘 生